

【同梱物の確認】



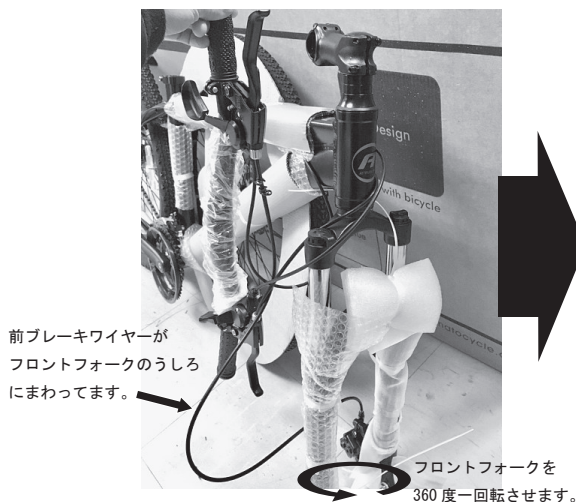
- 同梱物及び工具を確認します。
- ・簡易スパナ ペダルの取り付けに使用します。
- ・六角レンチ ハンドルの固定やサドルの固定に使用します。
- ・ペダル (L左用 R右用)
- ・ボルトキャップ等 (錆防止にハンドル固定のボルトや後輪のハブナットに装着する樹脂製のキャップ)
- ・クイックリリースレバー ※対象車種のみ

※機種によって工具の個数、形状が異なる場合があります。

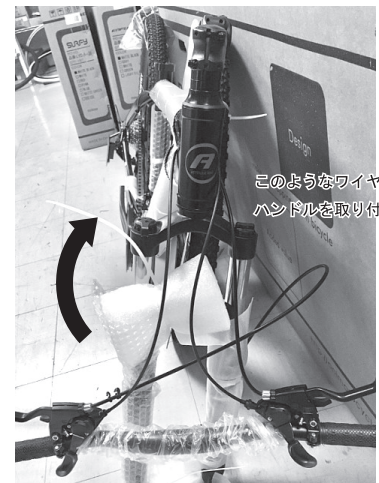
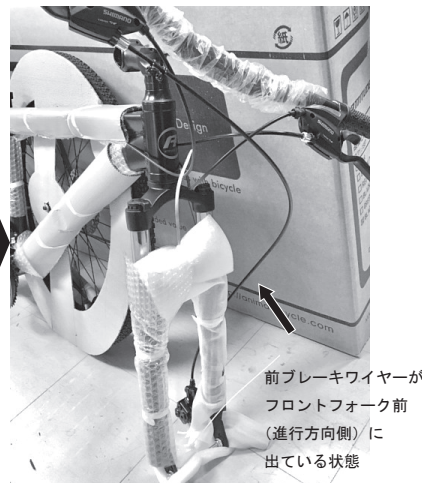
※※※※【ご注意】※※※※

前輪を取り付ける前にフロントフォークの向きにご注意下さい。

梱包上、フロントフォークが逆向きで梱包されていますので、以下を参照しワイヤー類が絡まないようにフロントフォークを1回転させて下さい。

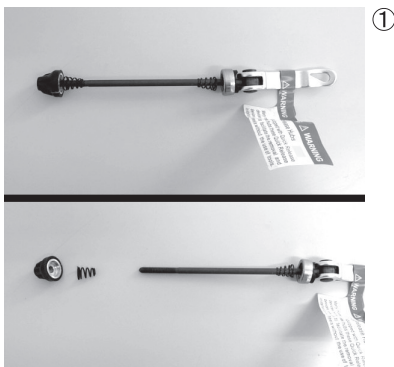


※結束バンドを切り
ハンドルを取り外しただけの状態

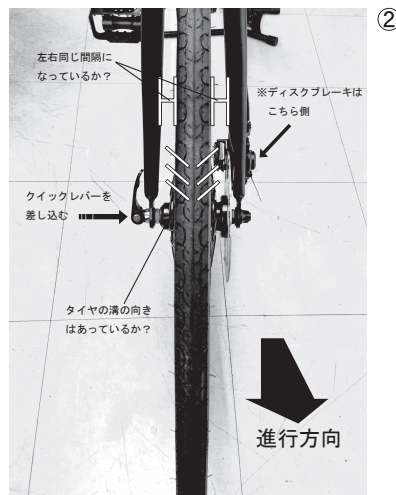


※ハンドルをぶら下げた状態

【前輪の取り付け】



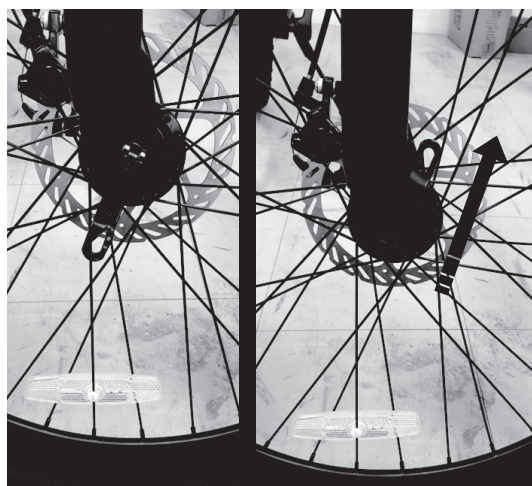
- クイックリリースレバーを図のようにキャップとバネ1個のみ取り外します。
- ※装着時も内側のバネの細い方が中心になるように装着します。



- タイヤの溝を確認し
正しい方向に前輪を装着します。
- キャップとバネ1個を取り外したクイックリリースレバーのレバー側を矢印の方向から差し込みある程度の硬さまで締め上げます。

※タイヤが斜めにならないようにフロントフォークとタイヤが平行になっているか、ブレーキパッドにディスクが触れていないかを確認しながら締め上げます。

【前輪の取り付け】 その2



- ③ ●最後にレバーを上を持ち上げ本締めします。
 ※てのひらを使ってレバーを押し上げる具合のかたさで締め上げて下さい。

【ハンドルの取り付け】



- 梱包上、ステムが180度逆向きになっています。左右2カ所のクランプボルトをゆるめて180度回転してください。ハンドルとまっすぐに調整し、上下クランプボルトを交互に締め付け固定します。

※アンカーボルトは型を取る際の調整ボルトです。締め過ぎないようにご注意ください。



- ハンドルクランプ側のボルト4つを全て(すき間が)均等になるように①→②→③→④→①→②...の順に4つのボルトを少しづつ締めていきます。

【ペダルの取り付け】



右



左

※一般的なネジとは異なり逆回り(反時計回り)で締め込みます。

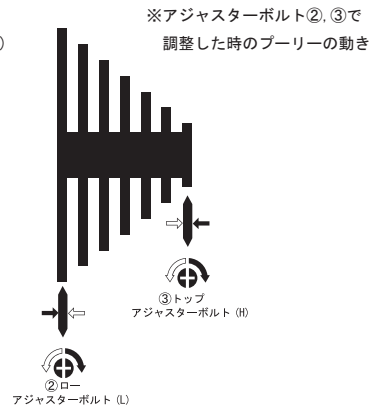
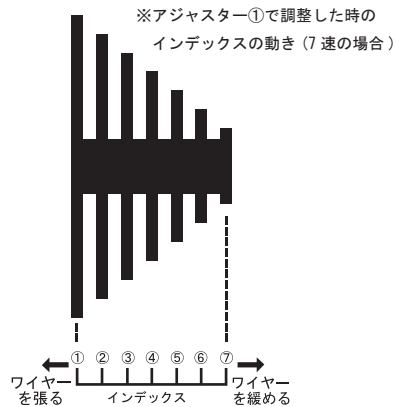
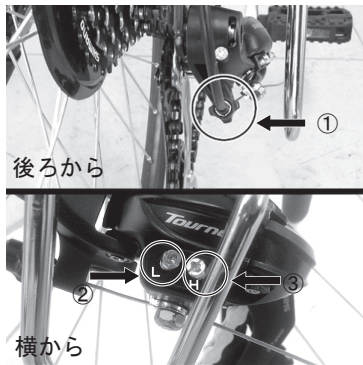
- ペダルの軸の刻印で右用(R)左用(L)を確認します。
 工具を使い図のように右ペダルは時計回り、左ペダルは反時計回りにしっかり奥まで締め上げます。

※最初は手で回し、途中から工具で締めます。最初から工具で締めると角度が悪いままに締まりクランク側のネジ山が壊れる可能性がありますのでご注意ください。

※ペダルは奥までしっかり締めて下さい。ペダルが緩いまま乗車することでクランク側のネジ山が破損する可能性がありますのでご注意ください。

【その他の調整】

・ギアの調整



【シフトワイヤーのテンションが緩い場合の症状】

・1速に入らない ・小ギア→大ギアへ変わりにくい (7速から6速にチェンジしにくいなど)

●調整方法 ①のアジャスターを反時計回りに回します。(ワイヤーを張ります)

【シフトワイヤーのテンションが強い場合の症状】

・7速に入らない ・大ギア→小ギアへ変わりにくい (1速から2速にチェンジしにくいなど)

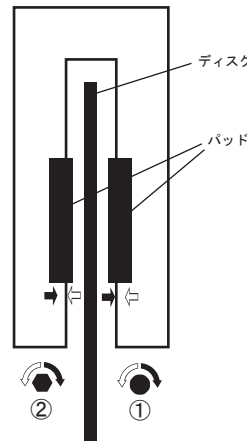
●調整方法 ①のアジャスターを時計回りに回します。(ワイヤーを緩めます)

※少しずつ (1/4 回転ほど) 回し、確認しながら調整下さい。

※症状によりませんが、まずは①のアジャスターで調整下さい。

①のアジャスターで改善しない場合は②、③のアジャスターボルトをお試し下さい。

・ブレーキの調整



【ブレーキパッドの調整】

※本来は調整済ですので組立後パッドがあたるようでしたらまずはタイヤが真っ直ぐに装着されているか確認の上、調整を行って下さい。

●①、②に、をそれぞれまわしますと図のようにパッドが移動します。

※ブレーキの形状によりブレーキレバー側のアジャスター (①) が無い場合はブレーキ本体側にもアジャスターありますのでそちらで微調整下さい。

【乗る前の最終チェック】

●フロントフォークが前後逆に装着されていませんか？

間違った組立のまま走行されますと事故や破損の原因にもつながりますので上記画像をご参照の上、正しく組立下さい。

●ペダルはしっかりと固定されていますか？

ペダルの装着がゆるい状態で走行されますとネジ山の破損 (ペダルがぐらぐらになる) 原因につながります。

●前輪クイックリリースレバーはしっかりと固定されていますか？

ゆるすぎると脱輪の原因になります。最後にレバーを手のひらを使って締め上げる程度の力加減で締め上げて下さい。

●タイヤの空気圧は十分ですか？

商品到着時は必ずしも十分に空気が充填されているとは限りません。

空気圧が低いまま乗車されるとバンクの原因となりますのでご注意くださいませ。

・製造工程上の理由より商品に細かな埃のようなものが付着している場合がございます。予めご了承下さいませ。

・入らない、動かないなどが御座いましたら決して無理をしないで下さい。(組立時に破損した場合は保障対象外となりますのでご注意ください。)

・初めてご乗車される際には必ず交通量の少ない道路で低速での慣らし走行を行って下さい。誤ったご使用による事故および破損は保証外となりますのでご注意くださいませ。

取扱説明書をご参考頂き正しいご理解と安全なご使用をお願いいたします。その他、ご不明な点など御座いましたら右記宛にご連絡下さいませ。

AMINTO アニマト株式会社

〒570-0043 大阪府守口市南寺方東通 5-23-3

営業時間 10:00 ~ 17:00 (土日祝を除く)

TEL: 06-6996-3800 FAX: 06-6996-3801

E-Mail: info@animatocycle.com

URL: http://animatocycle.com